



Institute of Labor Education & Culture

通信 No.46

2017年1月16日

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：木村裕士専務理事

新年のご挨拶



理事長 南雲 弘行

明けましておめでとうございます。

旧年中、皆様方には（公社）教育文化協会に対するご支援・ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。また、本年が皆様方にとってさらに良き年となりますよう祈念いたします。

昨年は、2016年4月14日から相次いで発生した熊本地震により、九州各地で大規模な被害が生じました。被災地では、復旧・復興に向けた取り組みが現在も続けられています。被災された皆さんが一日も早く安心して暮らすことができますよう、国民全員が意識し、継続的な取り組みを行っていく必要があるといえます。

さて、現在政府は、長時間労働の是正や非正規労働者の待遇改善といった「働き方改革」に関する議論を活発化させています。私たちは、働く者の立場から、こうした議論の内容が、本当に国民の豊かな暮らしや雇用につながるものであるかどうかを真剣に考え、しっかりと主張していかなければなりません。

私たちの将来を明るくしていくためにも、今こそ、すべての働く者が連帯して立ち上がるべきです。そのためには、「労働文化」を育てていく必要があります。労働者が自身の権利やワークルールについて学び、働くことの尊厳や連帯の意味を理解・共有し、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざしていくべきと考えます。

当協会は、本年も「労働文化」づくりに努めていきます。具体的には、若者に対する労働教育を目的に、同志社大・一橋大・埼玉大・法政大で開講している「連合寄付講座」の内容の充実をはかります。また、地方でも多くの若者に学んでいただけるよう、これまで13大学で開講している「地方連合会寄付講座」に対する支援をさらに充実させていきます。また、着実に広がっているこの「地方連合会寄付講座」を全国的に展開できるよう、講座開設を検討・希望している地方連合会からの要請にもしっかりと応えていきます。

2001年に開講した「R e n g o アカデミー・マスターコース」につきましては、第15回までに366名が受講しています。プログラムの一層の充実をはかり、連合運動の次代を担うリーダーの育成に努めていきます。

あわせて、第10回を迎える「幸せがし文化展」や「私の提言」などの文化事業をより積極的に展開していくため、連合やその構成組織をはじめとした関係各方面ともより密に連携していきます。さらに、公益社団法人として、公益目的事業を展開していることから、会員のみならず多くの皆様にご参加いただけるよう、発信力を高めていきたいと考えています。

当協会は、「働くことを軸とする安心社会」の実現を念頭に、社会の共感を呼び、共に学びあえる事業をしっかりと推進してまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

Rengoアカデミー第16回マスターコース開講

2016年11月20日（日）にRengoアカデミー第16回マスターコース（校長：神津里季生連合会長）が開講し、5泊6日の前期合宿をMELONDIAあざみ野で行いました。今回の受講生は総勢21名（男性15名、女性6名）です。

初日の開講式では、主催者を代表して南雲弘行理事長より、「講義を通じて労働運動に関する知識を体系的に身につけていただくとともに、異なる組織から派遣されている者同士、積極的にディスカッションを行い、交流を深めて欲しい」との挨拶がありました。

つづいて、神津里季生Rengoアカデミー校長、中村圭介教務委員長（法政大学院連帯社会インスティテュート教授）から、受講生に対する激励のメッセージが送られました。また、受講生を代表し、連合三重の廣瀬純子さんから、受講にあたっての決意表明が行われました。



▲主催者挨拶する南雲理事長



▲受講の心構えを話す神津校長



▲受講生を激励する中村教務委員長



▲真剣な表情で挨拶を聴く受講生

前期合宿で受講生は、幅広い領域・分野の講義（下表①）を受けるとともに、グループワークを通じて、自分たちの産業や組織、置かれている立場から活発な意見交換を行いました。

講義後は5つのゼミ（下表②）に分かれ、修了論文作成に向けて夜遅くまで熱心に議論を交わしました。

受講生は今後、自学自習に励みつつ、必修ゼミ・後期合宿（2017年5月14日～19日）においてさらに考察を深め、修了論文の提出、教務委員長の監修を経て9月に修了式を迎える予定です。

各組織におかれましては、引き続き受講生への温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

①Rengoアカデミー第16回マスターコース・前期講義一覧

講義日	科目	講師氏名
11.20(日)	連合の役割・行動Ⅰ 一連合運動における自らの役割	神津里季生 連合会長、 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
11.21(月)	アサーティブ・トレーニング	森田 汐生 アサーティブ・ジャパン代表
	歴史からみた労働組合の役割 論文のまとめ方	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
11.22(火)	人口減少・超少子高齢化社会の課題	加藤 久和 明治大学教授
	日本の財政と社会政策の課題	井手 英策 慶應義塾大学教授
	労働者自主福祉の課題	花井 圭子 中央労協事務局長
		滝 康之 労金協会経営企画部主任
飯倉 裕之 全労済経営企画部次長 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長		
11.23(水)	現代日本経済論	宮崎 徹 早稲田大学講師
	労働法の基礎	浜村 彰 法政大学教授
11.24(木)	グローバル化と労使関係	田端 博邦 東京大学名誉教授
	ジェンダーと労働	神尾真知子 日本大学教授
11.25(金)	人材活用と人事管理の課題 組合リーダーに聞く	橋元 秀一 國學院大学教授
		西原浩一郎 金属労協（JCM）顧問
		森 忠仁 日本プロ野球選手会事務局長
		高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長



▲講義で熱弁をふるう高木副校長



▲ゼミごとに議論する受講生

【受講生からの声】

- ・自分の中で新たな課題認識を見つけることができた。
- ・グループで考え方を議論・共有できたのが有意義だった。
- ・普段は聴くことのできない貴重な講義で参考になった。
- ・講義で学んだことを自分の職場で活かしたいと思った。

※多くの講義で同様の感想をいただいています。

②ゼミ担当教員とテーマ

ゼミ名	テーマ
禹ゼミ（禹 宗杭 埼玉大学教授）	グローバル化と日本の労働組合
木本ゼミ（木本喜美子 一橋大学名誉教授）	少子高齢社会のなかの人間と労働組合
毛塚ゼミ（毛塚 勝利 法政大学院連帯社会インスティテュート客員教授）	労働法と労働組合
高木ゼミ（高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長）	経済・産業と労働組合
橋元ゼミ（橋元 秀一 國學院大学教授）	企業・職場と労働組合

第11回「労働法講座」(基礎コース)を開催

2016年10月18日(火)～19日(水)、連合会館において第11回「労働法講座」(基礎コース)を開催し、連合構成組織・地方連合会などから57名が参加しました。

初日は、冒頭に南雲弘行理事長が開会の挨拶を述べた後、野川忍明治大学法科大学院教授から労働法の必要性・役割と全体像、労働基準法、労働契約法などについて講義をしていただきました。

2日目は森戸英幸慶應義塾大学法科大学院教授から労働組合法、男女雇用機会均等法、労働者派遣法などを講義いただき、その後、高村豊連合東京アドバイザーから労働相談の現場でどのように労働法を活用するかについて具体的な事例や判例を交えながらご説明いただきました。最後に、村上陽子連合総合労働局長が連合の雇用・労働法制の取り組みを法律制定・改正のプロセスにも触れながら紹介しました。

来年秋にも労働法講座(基礎コース)を開講する予定ですので、皆さんの参加をお待ちしています。



▲野川教授



▲森戸教授



▲高村連合東京アドバイザー



▲村上連合総合労働局長

受講者アンケートより

- ◇非常に充実した内容で大変勉強になった。また、すぐに実践できる内容だった。
- ◇具体的な事例や判例などにも触れながら説明していただいたので、よく理解できた。
- ◇労働法の重要性、連合の取り組みの重要性をそれ

ぞれ理解できた。

- ◇労働組合の責任や権利、あるべき姿についても説明していただき身が引き締まる思いがした。
- ◇労働法講座で学んだことを組合員にもしっかり伝えていきたい。

「ワークルール検定2016・秋(初級)」を2016年11月に実施

ワークルールに関する知識を身につけたいという社会的なニーズの高まりを受け、労働に関わる一般的な知識について問う「ワークルール検定」が、一般社団法人日本ワークルール検定協会の主催で行われています。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、本検定の展開・拡大に取り組んでいます。

2016年は、5月22日に続き11月23日(勤労感謝の日)に全国12カ所で初級検定を一斉実施し、790名が受検、うち631名が合格しました(実施会場は表のとおり)。

次回の検定は、2017年6月11日に初級と中級を実施する予定です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

(URL) <http://workrule-kentei.jp/>

実施地		会場
北海道	札幌	かでの2・7 802研修室
	釧路	釧路市生涯学習センター(まなぼと幣舞)7階学習室705・706号室
岩手		ホテルニューカリーナ「アイリス」
千葉		千葉県教育会館 本館303会議室
東京		連合会館 2階大会議室
岐阜		ワークプラザ岐阜 5F大ホール
福井		ユニオンプラザ福井 3Fホール
京都		キャンパスプラザ京都 第2講義室
広島		ワークピア広島 2F「桜」
高知		高知市中央公民館 11F大講義室
大分		全労済ソレイユ 7F「カトレア」
和歌山		和歌山県勤労福祉会館(プラザホープ)4F



http://workrule-kentei.jp/

第10回 連合・ILEC 幸せさがし文化展

—働く仲間とその家族の公募展—

募集スタート!

いよいよ2月1日から俳句・川柳の部、4月1日から絵画・写真・書道の部の募集が始まります。今回も連合大賞、ILEC大賞をはじめ、好評を得ているジュニア特別賞（応募時年齢が15歳以下の方を対象）やシニア特別賞（応募時年齢が80歳以上の方を対象）、その他各賞を設けました。

また、写真の部では、プリント作品での応募の他、今回からデータ送信による応募が可能になりました。

どなたでも応募できます。組合員の皆さんやそのご家族、組合OB・OG、一般の方々など、是非お声がけの上、ふるってご参加ください!

- 募集期間 俳句・川柳部門：2月1日(水)～5月31日(水)
絵画・写真・書道部門：4月1日(土)～5月31日(水)
- 発表 7月3日(月)に入賞者をILECホームページで発表
入賞者のみに7月上旬に書面で通知
- 作品展示 8月上旬にILECホームページに入賞作品全点を展示
10月4日(水)～5日(木)東京国際フォーラムホールA
(連合第15回定期大会会場) 1Fロビー 他
- 各賞 俳句・川柳(各部門)
連合大賞・ILEC大賞 各1名 賞状・賞金5万円
シニア特別賞1名 賞状・賞金3万円
ジュニア特別賞1名 賞状・図書カード3万円
その他各賞
絵画・写真・書道(各部門)
連合大賞・ILEC大賞 各1名 賞状・賞金10万円
シニア特別賞1名 賞状・賞金3万円
ジュニア特別賞1名 賞状・図書カード3万円



▲第9回文化展の「連合大賞」受賞作品

詳しくは「募集要項」をご覧ください。ILECホームページでもご案内しています。(過去の入賞作品も掲載しています。)

幸せさがし文化展

検索

監事の交代(敬称略) 寺田 弘 連合参与 → 下田 祐二 連合総合総務財政局長(2016年11月21日付)

【退任・着任者からのご挨拶】

□1年という大変短い期間でしたが、連合寄付講座・Rengoアカデミー・私の提言などを担当する中で、多くの方にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。
ILECの立場で連合運動に関わったことは、私にとって貴重な経験になりました。この経験をこれからの業務に活かしていきたいと思っております。
今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。
(星野裕一ディレクター…連合本部へ復帰)

□10月14日付で着任いたしました。約10年前に大学で連合寄付講座を受講したことがきっかけで連合のことを知り、その後、紆余曲折を経て連合の職員となりましたが、今度は私が寄付講座の運営担当として大学生のみなさんに労働運動を知ってもらう立場になったことに不思議な縁を感じています。微力ではございますが、公益法人としての社会的使命を自覚しつつ、労働教育や教育文化活動の振興に貢献できるよう誠心誠意努めてまいります。
今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。
(田村知丈ディレクター…連合本部より出向)

編集後記

昨年11月に、Rengoアカデミー・第16回マスターコースが開講しました。マスターコースはこれかが本番。事務局1年目の私にとっても、とても充実した一年になりそうです。(こん太)